

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、20～24℃台を示し、平年並み～やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間とシケのため出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の21%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週の57%（前年を下回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり3トンの水揚げで前週の43%（前年を下回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり9kgの水揚げで、前週の50%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり667kgの水揚げ。北松生月地区では、ブリなどが1日1統当たり1.2トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり40kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり44kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり220kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり13kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（11/9～11/13日の5日間）沖合イカ釣り船、船凍船は大和堆付近へ出漁した。沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、山口沖～隠岐海峡～鳥取沖にかけて出漁した。鳥取県西部（沖合船）：1日延2隻、総計18箱、1航海最高13箱、平均9箱、スルメイカを中心に漁獲、魚体は20～25入り主体。山口沖～隠岐海峡～鳥取沖に出漁したが漁獲は減少した。（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第31-34号 長崎県周辺海域の海面水温（11月号）・第31-35号 今期のトビウオ漁模様とトビウオ漁況予報の検証」を長崎県庁ホームページに掲載しています。

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>